

◆◆考えてみよう～部屋の中の植物と野の植物～◆◆

校長室に観葉植物の鉢があります。前校長の田中先生が残してくださったものです。その器を見ていてふと思ったことがあるので書いてみようと思います。部屋の中の植物を日本の子ども、野は世界社会と思って読んでください。

部屋の中の小さな器に植わっている植物。
常に育て主に見守られて、病気になってもすぐに治療を受け、
激しい日光や乾燥にさらされることなく、
主張も要求もしなくても、水や必要な栄養分を与えられ手入れをされ、
こじんまりと、なんの不自由なく美しく生きている。
でも、根を伸ばせるのは、器の体積分のみ、光もあまり届かない。
もっと根を張るスペースがあればもっともっと大きく成長できるのに…。



ある日、突然部屋から出され、野原に移植された植物。
隣には芽を出したときから野に育った植物が、所狭しと自らを主張して、伸び放題に貪欲に生きている。
強い日光と乾燥にさらされ、時々雨はあるものの、固い大地に自分の力で根を伸ばしていかない限り、水も
養分も得られない。

一緒に野原に移された植物の仲間は、そのほとんどが強い日差しに
細胞の組織を破壊され、根を伸ばす間もなく乾燥に負け、枯れ果てた。
辛うじて日差しや乾燥に打ち勝った仲間も、
隣の野に育った植物に負けて、根を伸ばす術も知らず、その力もなく、
移植されたときの大きさのまま、小さく辛うじて生きているだけ。
小さく辛うじて生きているだけ…。
それもしばらくの間だけで、やがては野の植物の養分となる…。



片や、山や野にある自然の植物。
病気は自分の力で治し、必要な栄養分は自ら掘み取り、伸び放題に、
決して美しいとはいえない状態で生きている。
生まれたときに運悪く大地に根をはれる場所でなかったものや、
力及ばず病気に負けたり養分の奪い合いに負けて
息絶えてしまった仲間もあるけれど…。
今は、強い光を十分な光合成の燃料とし、
しっかり根を伸ばして、水分と養分を得ている。



光や乾燥の試練を生きる力に変えて、自らの力で、強く逞しく、自由に生きている。

今のあなた自身は、どちらの植物だと思いますか。
そして、あなたはどちらの植物として生きていきたいですか。

一生を部屋の中の植物として生きることはできません。
何故なら、育て主は必ずあなたより先に老いぼれて死ぬのですから

あなたに光や乾燥に耐える力がありますか。
固い大地に根を伸ばす力がありますか。

そして最後に、
大人のあなたは、どちらの植物を育てたいですか。

